

4. 調査結果の概要

(1) 高等学校

① スコアの結果

高等学校における本調査の総合得点率の平均は、63.2%である。各スキルの平均スコアは、以下の通りである。

■ リーディング

680 満点に対して、426.3 点である。実用英語技能検定試験（以後、英検）のレベル分布では、準 2 級レベルの割合が一番多く（30.1%）、次に 2 級レベル（20.9%）、3 級レベル（19.3%）、4 級レベル（15.8%）、4 級チャレンジレベル（10.8%）、準 1 級チャレンジレベル（3.1%）となっている。準 2 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合（54.1%）を占めている。

*準 1 級チャレンジレベルは、2 級より上のレベルにあることを指す。

4 級チャレンジレベルは 4 級より下のレベルにあることを指す。

本調査におけるレベル一覧

準 1 級チャレンジレベル
2 級レベル
準 2 級レベル
3 級レベル
4 級レベル
4 級チャレンジレベル

■ リスニング

680 満点に対して、442.6 点である。受験者の英検レベル分布では、準 2 級レベルの割合が一番多く（30.5%）、次に 3 級レベル（29.2%）、2 級レベル（18.1%）、4 級レベル（5.8%）、準 1 級チャレンジレベル（6.5%）、4 級チャレンジレベル（5.8%）となっている。準 2 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合（55.1%）を占めている。

■ ライティング

11 点満点に対して、6.8 点である。

■ 論理的思考力

23 点満点に対して，14.6 点である。

■ スピーキング

スピーキングは全受験者の約 18%が，レベル 3（英検 3 級相当レベル），レベル P2（英検準 2 級相当レベル），レベル 2（英検 2 級相当レベル）の 3 種類のテストのうちの 1 つを受験した。受験レベルは，各校が任意に選択した。各レベルの受験者数と合格レベルに達した割合（平均合格率）は以下の通りである。

レベル	受験者数（受験者数の割合）	平均合格率
レベル 2	3,459（41.9%）	63.1%
レベル P2	3,871（46.9%）	53.0%
レベル 3	917（11.1%）	66.3%
合計	8,247	

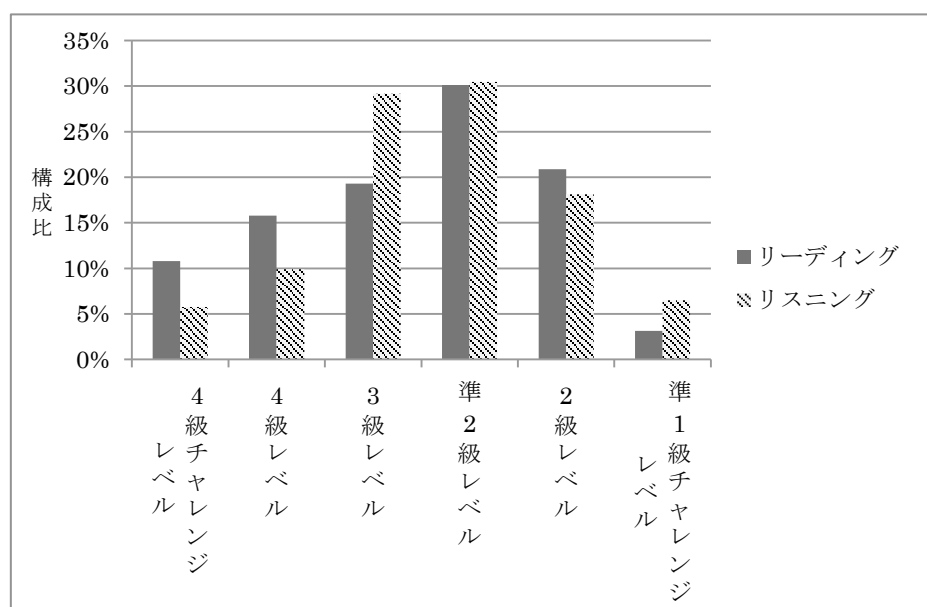
② 成績データ

■ 全体集計

	生徒数	平均スコア	平均正答数	平均正答率	平均合格率	標準偏差	平均スコアの 95%信頼区間	中央値	最大値	最小値
リーディング	46,575	426.3 / 680	9.0 / 18	62.7%	-	106.0	218.7 ~ 634.0	442	680	0
リスニング	46,554	442.6 / 680	13.2 / 22	65.1%	-	102.0	242.6 ~ 642.5	441	680	0
ライティング	46,755	6.8 / 11	-	62.0%	-	2.9	1.2 ~ 12.4	7	11	0
論理的思考力	46,689	14.6 / 23	14.6 / 23	63.6%	-	4.7	5.4 ~ 23.8	15	23	0
スピーキング (レベル 2)	3,459	20.4 / 33	-	61.9%	63.1%	5.5	9.7 ~ 31.2	20	33	7
スピーキング (レベル P2)	3,871	19.2 / 33	-	58.1%	53.0%	5.4	8.5 ~ 29.8	19	33	7
スピーキング (レベル 3)	917	21.0 / 33	-	63.5%	66.3%	5.5	10.1 ~ 31.8	21	33	7

※論理的思考力の集計では、リーディング・リスニング両方を受験した生徒を対象にしています。

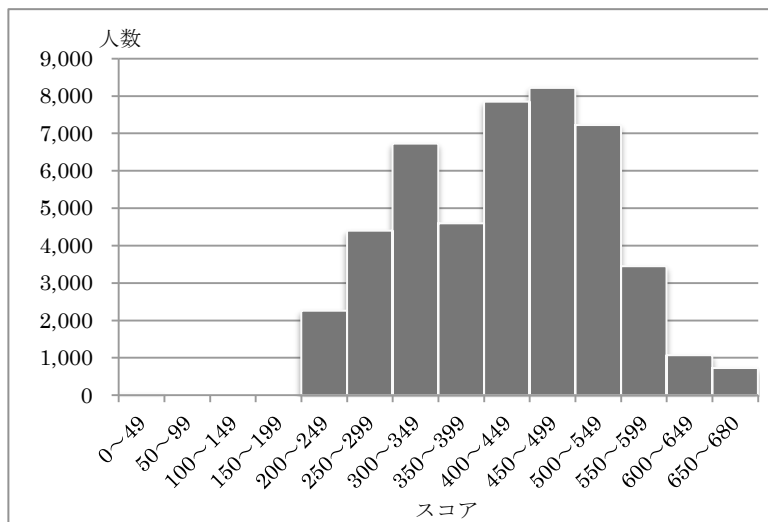
リーディングとリスニングにおける受験者の英検レベル分布



■ リーディング

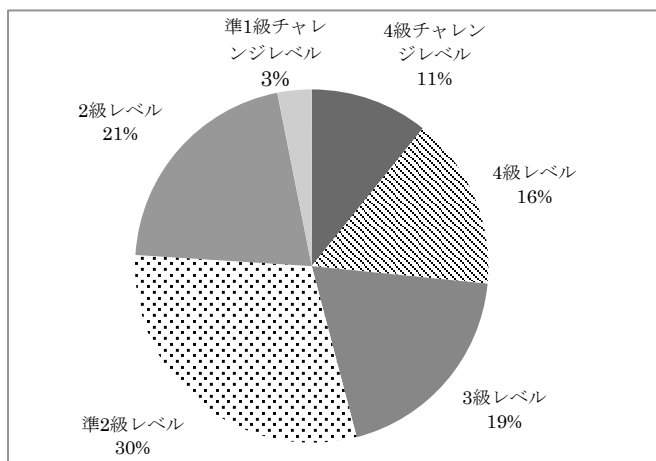
スコア分布

スコア	度数
0～49	36
50～99	0
100～149	0
150～199	0
200～249	2,263
250～299	4,399
300～349	6,730
350～399	4,599
400～449	7,854
450～499	8,218
500～549	7,223
550～599	3,452
600～649	1,074
650～680	727
合計	46,575



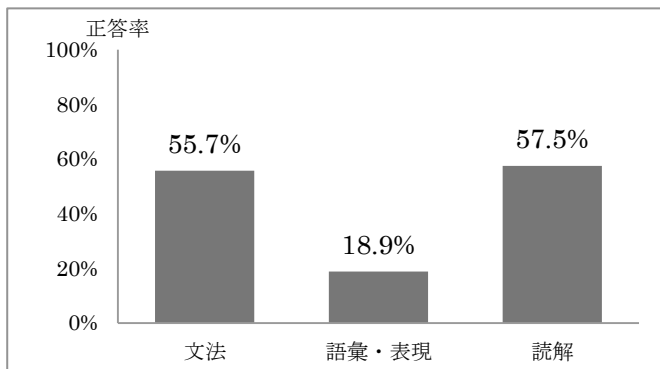
受験者の英検レベル分布

レベル	割合
4級チャレンジレベル	10.8%
4級レベル	15.8%
3級レベル	19.3%
準2級レベル	30.1%
2級レベル	20.9%
準1級チャレンジレベル	3.1%



分野別正答率

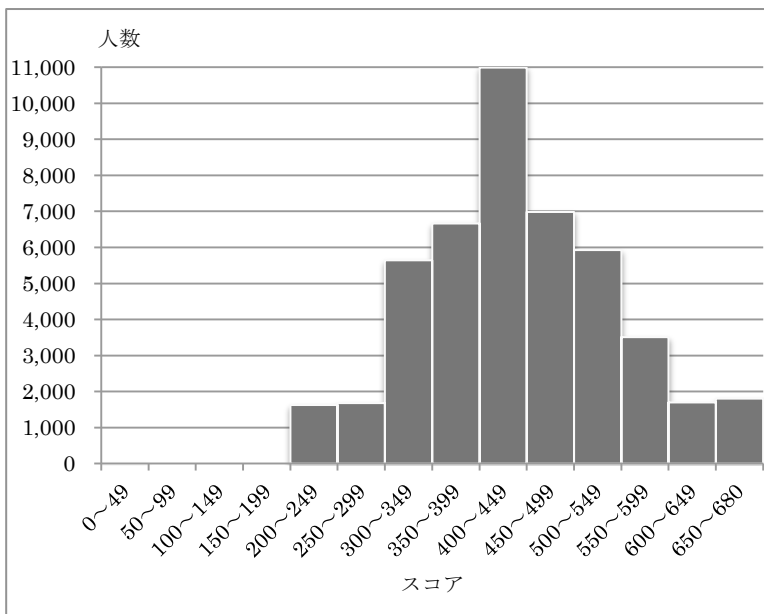
分野	正答率
文法	55.7%
語彙・表現	18.9%
読解	57.5%



■ リスニング

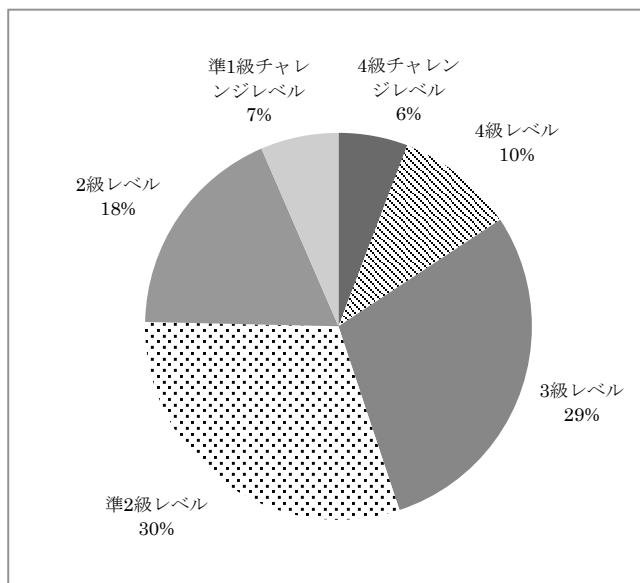
スコア分布

スコア	度数
0～49	7
50～99	0
100～149	0
150～199	0
200～249	1,632
250～299	1,682
300～349	5,644
350～399	6,667
400～449	10,996
450～499	6,988
500～549	5,925
550～599	3,513
600～649	1,698
650～680	1,802
合計	46,554



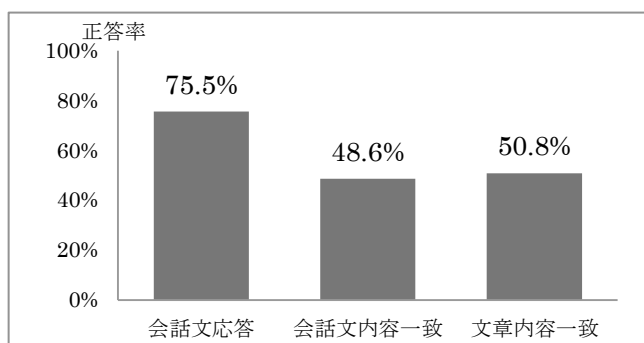
受験者の英検レベル分布

レベル	割合
4級チャレンジレベル	5.8%
4級レベル	9.9%
3級レベル	29.2%
準2級レベル	30.5%
2級レベル	18.1%
準1級チャレンジレベル	6.5%



分野別正答率

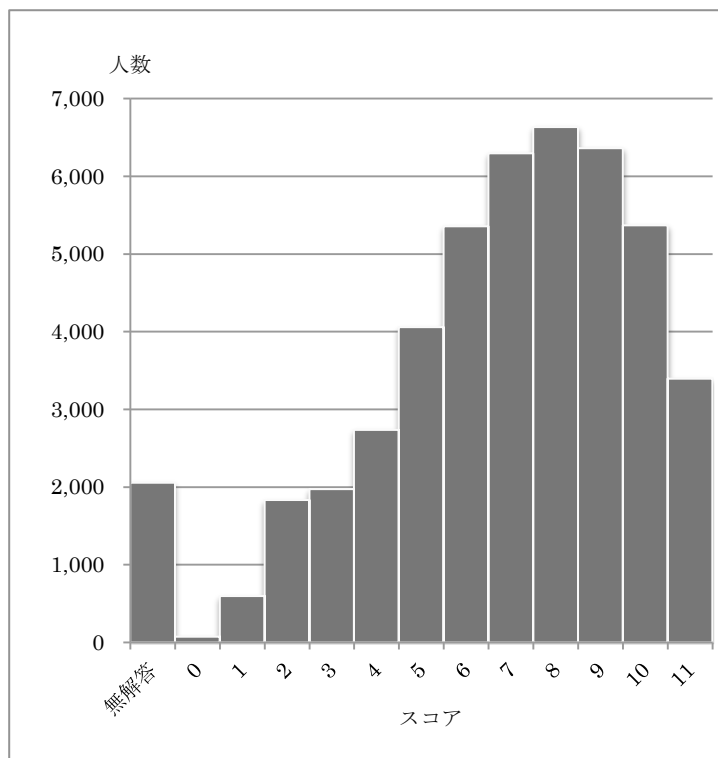
分野	正答率
会話文応答	75.5%
会話文内容一致	48.6%
文章内容一致	50.8%



■ ライティング

スコア分布

スコア	度数
無解答	2,058
0	75
1	598
2	1,833
3	1,973
4	2,738
5	4,059
6	5,358
7	6,297
8	6,636
9	6,364
10	5,369
11	3,397
合計	46,755



評価基準別スコア分布

分野		0点	1点	2点	3点	平均点
コミュニケーション	分量	12.4%	15.0%	72.6%	-	1.6
	資料理解	11.7%	26.1%	62.2%	-	1.5
言語	文法・綴り	15.3%	36.0%	48.7%	-	1.3
	表現	30.1%	36.0%	33.9%	-	1.0
	構成	31.4%	26.0%	19.3%	23.3%	1.3

評価基準

分量	語数の指定に従って、英文が書けているかどうか
資料理解	与えられた資料の内容を理解し、説明しているかどうか
文法・綴り	文法・綴りに大きな誤りがないかどうか
表現	情報を伝える際に、有用な表現を用いているかどうか
構成	論理展開が分かりやすい英文を書けているかどうか

■ スピーキング

レベル別受験結果

	もう少し がんばろう レベル		あと一歩レベル		合格レベル		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
レベル 2 (英検 2 級相当)	541	15.6%	735	21.2%	2,183	63.1%	3,459
レベル P2 (英検準 2 級相当)	855	22.1%	963	24.9%	2,053	53.0%	3,871
レベル 3 (英検 3 級相当)	132	14.4%	177	19.3%	608	66.3%	917

スピーキングレベル 2

設問別平均得点

問題	内容	平均得点	配点	
音読	パッセージの音読	3.7	5	
質問応答	Q1	パッセージに関する質問に答える	2.5	5
	Q2	イラストを説明する	3.1	5
	Q3	イラストを説明する	2.9	5
	Q4	意見を述べる	2.9	5
	Q5	意見を述べる	3.4	5
態度	コミュニケーションを図る態度	1.9	3	
合計		20.4	33	

スピーキングレベル P2

設問別平均得点

問題	内容	平均得点	配点	
音読	パッセージの音読	3.5	5	
質問応答	Q1	パッセージに関する質問に答える	2.2	5
	Q2	イラストを説明する	2.7	5
	Q3	イラストを説明する	2.9	5
	Q4	意見を述べる	2.9	5
	Q5	意見を述べる	3.3	5
態度	コミュニケーションを図る態度	1.7	3	
合計		19.2	33	

スピーキングレベル 3

設問別平均得点

問題	内容	平均得点	配点	
音読	パッセージの音読	3.4	5	
質問応答	Q1	パッセージに関する質問に答える	2.8	5
	Q2	イラストを説明する	3.4	5
	Q3	イラストを説明する	3.3	5
	Q4	意見を述べる	3.1	5
	Q5	意見を述べる	3.2	5
態度	コミュニケーションを図る態度	1.7	3	
合計		21	33	

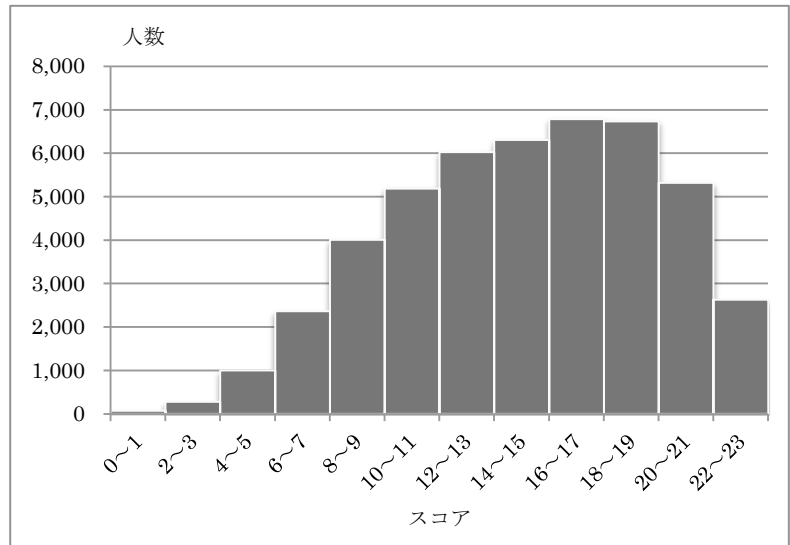
評価基準

レベル 2	音読では, 英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して, No.2 ではイラストに関してその展開を問う。No.3 と No.4 では, 受験者には自分の意見を, 根拠を持って答えることが求められる。態度は積極性, 明瞭な音声, 自然な反応の 3 点が評価の対象となる。
レベル P2	音読では, 英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して, No.2 と No.3 ではイラストの描写に関して問われる。No.4 と No.5 は, 受験者の意見を問う。態度は積極性, 明瞭な音声, 自然な反応の 3 点が評価の対象となる。
レベル 3	音読では, 英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して, No.2 と No.3 ではイラストに関して問われる。No.4 と No.5 は, 受験者がどのような意見を持っているかを問う。態度は積極性, 明瞭な音声, 自然な反応の 3 点が評価の対象となる。

■ 論理的思考力

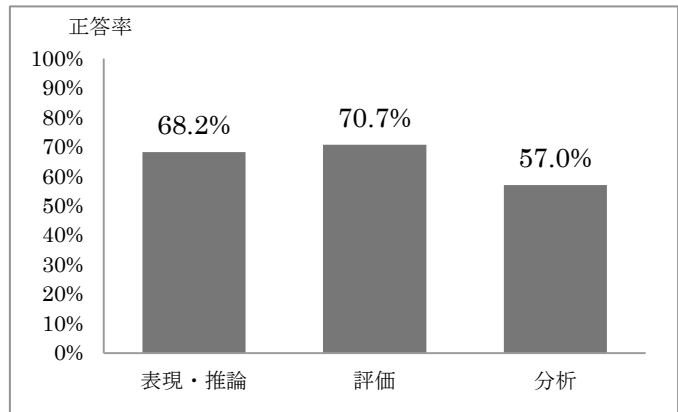
スコア分布

スコア	度数
0~1	72
2~3	278
4~5	1,002
6~7	2,365
8~9	4,005
10~11	5,186
12~13	6,021
14~15	6,303
16~17	6,785
18~19	6,731
20~21	5,314
22~23	2,627
合計	46,689



分野別正答率

分野	正答率
表現・推論	68.2%
評価	70.7%
分析	57.0%



③ 問題別データ

■ リーディング

大問	問題	出題内容	分野	学習指導要領の領域等				評価の観点				正答率	無解答率
				書くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
1	1	文脈から判断し、適切な語彙(late)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	92.8%	0.0%
	2	文脈から判断し、適切な語彙(healthy)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	81.2%	0.0%
	3	文脈から判断し、適切な熟語(end in)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	58.3%	0.1%
	4	文脈から判断し、適切な熟語(a large amount of)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	53.6%	0.1%
	5	文脈から判断し、適切な語彙(heal)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	29.4%	0.2%
	6	文脈から判断し、適切な熟語(get by)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	7.3%	0.2%
2	7	関係代名詞節を使って文を書くことができる。	文法			◎	○			○	◎	21.6%	0.3%
	8	名詞句内部の語順に注意しながら文を書くことができる。	文法			◎	○			○	◎	20.6%	0.4%
	9	seem toという表現を使って文を書くことができる。	文法			◎	○			○	◎	14.4%	0.7%
3	10	会話の流れから、相手の依頼を踏まえて応答することができる。	表現		○	◎				◎	○	85.6%	0.1%
	11	会話の流れから、代案となるような応答をすることができる。	表現		○	◎				◎	○	57.9%	0.2%
	12	会話の流れから、追加の質問となるような応答をすることができる。	表現		○	◎				◎	○	35.1%	0.2%
5A	25	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由を理解できる。	読解			◎				◎		82.5%	0.4%
	26	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由を理解できる。	読解			◎				◎		76.3%	0.4%
	27	本文の内容を把握し、登場人物の今後の行動を理解できる。	読解			◎				◎		69.2%	0.5%
5B	28	本文の内容を把握し、登場人物の行動が理解できる。	読解			◎				◎		45.9%	0.7%
	29	本文の内容を把握し、文中で指摘されている問題点を理解できる。	読解			◎				◎		36.1%	0.7%
	30	本文の内容を把握し、与えられた文の正誤を判断することができる。	読解			◎				◎		35.0%	0.8%

■ リスニング

大問	問題	出題内容	分野	学習指導要領の領域等				評価の観点				正答率	無解答率
				書くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解		
1	1	会話を聞き取り、適当な電話での受け答えをすることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎	○	83.3%	0.1%
	2	会話を聞き取り、理由として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		88.1%	0.1%
	3	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		94.2%	0.1%
	4	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		91.4%	0.1%
	5	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		60.2%	0.2%
	6	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		76.0%	0.1%
	7	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		85.6%	0.1%
	8	会話を聞き取り、定型的な会話表現を使うことができる。	会話文応答	◎	○			○		◎	○	40.1%	0.1%
	9	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		60.8%	0.3%
2	10	会話の内容を踏まえ、登場人物の行動を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		82.0%	0.1%
	11	会話の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		45.8%	0.1%
	12	会話の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		35.7%	0.1%
	13	会話の内容を踏まえ、登場人物の行動を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		60.2%	0.1%
	14	会話の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		37.3%	0.2%
	15	会話の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		34.4%	0.1%
	16	会話の内容を踏まえ、登場人物の感想を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		41.8%	0.2%
17	会話の内容を踏まえ、問題となっていることを適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		51.7%	0.2%	
3	18	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		64.8%	0.1%
	19	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		58.4%	0.2%
	20	英文の内容を踏まえ、登場人物の行動を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		32.9%	0.2%
	21	英文の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		48.4%	0.2%
	22	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		49.3%	0.2%

■ 論理的思考力

技能	大問	問題	出題内容	分野	正答率	無解答率	
リーディング	3	10	会話の流れから、相手の依頼を踏まえて応答することができる。	評価	85.6%	0.1%	
		11	会話の流れから、代案となるような応答をすることができる。	評価	57.9%	0.2%	
		12	会話の流れから、追加の質問となるような応答をすることができる。	評価	35.1%	0.2%	
	4A	13	前後の論理関係にあう接続表現を選ぶことができる。	表現	90.5%	0.1%	
		14	前後の論理関係にあう接続表現を選ぶことができる。	表現	60.5%	0.2%	
		15	結論に対応する理由を選ぶことができる。	推論	74.3%	0.2%	
		16	結論に対応する理由を選ぶことができる。	推論	80.0%	0.3%	
	4B	17	議論を補強するためのグラフを選択できる。	評価	93.4%	0.2%	
		18	表の内容に相当する文を選択できる。	評価	90.4%	0.2%	
		19	表の内容に相当する文を選択できる。	評価	62.0%	0.4%	
	4C	20	本文の内容から、文の主題となっているものの特徴を読み取ることができる。	分析	53.9%	0.4%	
		21	本文の内容から、空欄に入る事例として適切なものを選ぶことができる。	分析	59.1%	0.3%	
		22	前後の文の論理関係にあう、接続表現を選ぶことができる。	表現	58.8%	0.4%	
		23	前後の文の論理関係にあう、接続表現を選ぶことができる。	表現	45.4%	0.5%	
		24	本文の要旨を踏まえ、適切なタイトルを選ぶことができる。	分析	63.6%	0.5%	
	5A	25	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由を理解できる。	分析	82.5%	0.4%	
		26	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由を理解できる。	分析	76.3%	0.4%	
	5B	29	本文の内容を把握し、文中で指摘されている問題点を理解できる。	分析	36.1%	0.7%	
	リスニング	2	11	会話の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	分析	45.8%	0.1%
			14	会話の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	分析	37.3%	0.2%
3		18	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	分析	64.8%	0.1%	
		19	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	分析	58.4%	0.2%	
		22	英文の内容を踏まえ、理由を適切に答えることができる。	分析	49.3%	0.2%	

④ 調査結果から見られる傾向と課題

- ◇…相当数（正答率 80%以上）またはおおよそ（正答率 60%以上）の生徒ができてい
る点
- ◆…課題がある（正答率 40%未満）点

■ 全体的な状況

- ◇ 情報量の少ない単純な英語であれば、相当数の生徒が英語で理解することができている。
- ◆ 情報量の多い会話や英文を理解することに、課題がある。
- ◆ 複雑な状況設定を整理・統合したうえで、英語で理解したり表現したりすることに、課題がある。

■ リーディング

- ◇ 中学校で学習するような初歩的な単語の理解は、相当数の生徒ができています。
- ◇ 学校や生活に関する話題に関して書かれた平易な文章を適切に理解することは、おおよその生徒ができています。
- ◆ 読解の上で必要となる文法事項の定着に課題がある。
- ◆ 文構造の複雑な英文から、目的に応じて必要な情報や考えなどを読み取ることに課題がある。

■ リスニング

- ◇ 学校や生活に関する話題に関する短い会話は、相当数の生徒が理解できている。
- ◇ 会話や英文の主要部分を聞きとることについては、おおよその生徒ができています。
- ◆ 情報量が多い会話や英文の内容を理解することに課題がある。

■ ライティング

- ◇ 所定の分量に達するまで積極的に書くことについては、おおよその生徒ができてい
る。
- ◇ 与えられた資料の概要やその背景を書くことについては、おおよその生徒ができて
いる。
- ◆ 内容の要点を示す語句，つながりを示す語句，事実と意見を区別するための語句な
どを用いて，読み手にわかりやすく伝えることに課題がある。
- ◆ 文章の構成を考えて書くことに課題がある。

■スピーキング

- ◇ 初見の文章を音読することについては，おおよその生徒ができてい
る。
- ◆ 与えられたテキストの内容に関する質問に答えることに課題がある。

■ 論理的思考力

- ◇ 図表に描かれている内容を理解することは，相当数の生徒ができてい
る。
- ◇ 短い文構造の論理関係を捉えることは，おおよその生徒ができてい
る。
- ◆ 情報量の多い会話や英文の中から必要な情報を整理して，抽出することに課題があ
る。

⑤ 指導改善のポイント

■ 全体的な状況

- 情報量の多い会話や英文から内容の要点を見つける活動の工夫・充実
 - 情報量の多い会話や英文に対しては、語られていることや書かれている内容の要点を見つけさせることが重要である。例えば、様々な形式の会話や英文に慣れさせ、どのようなところに語り手や書き手の主張したい事柄が出てきやすいのかを生徒が理解させることが必要である。
- 複雑な状況設定を整理・統合させる活動の工夫・充実
 - 複雑な状況設定がなされている英語を理解させる際には、情報を適宜整理させ、集めた情報を統合させることが大切である。情報を整理・統合する際には、聞きとつたことを適切にメモしたり、読み取ったことを表やチャートの形で整理したりするといった活動を行うことが重要である。
 - 英語で情報を伝える活動を行う際には、相手に伝わりやすいように事前に複雑な状況設定を整理させることが大切である。例えば、情報を重要度の高い順に並べて書いたり話したりするなど、分かりやすく伝えるためにはどうすべきかを考えることが重要である。

■ リーディング

- 文構造の複雑な英文を読む活動の工夫・充実
 - 文構造の複雑な英文を読む際には、内容の要点をすばやく読み取ることが大切である。英文では、段落においても文章全体においても冒頭や末尾に書き手の主張したいことがまとめられていることが多い。この点を把握させ、先に冒頭と末尾だけ読んでまず、文全体の概要をつかんだうえで残りの部分を読ませることが重要である。

■ リスニング

- 情報量が多い会話や英文の内容を聞き取らせる活動の工夫・充実
 - 情報量が多い会話や英文を聞く際には、文全体の構成を理解させることが大切である。例えば、要点を示す *in short, in summary* といった表現に着目し、後に語り手が伝えたい内容が来ることを気付かせることが重要である。

■ ライティング

- 文章の流れを示す語句を使用して書く活動の工夫・充実
 - 読み手に内容を分かりやすく伝えるためには、文章の流れを示す語句を適切に用いる必要がある。文章の流れを示す語句には、**in conclusion** などの内容の要点を示す語句、**and** や **but** などのつながりを示す語句、**according to**…などの出典を示す語句などがあり、これらの語句を生徒が文章を書く際に適切に使用させることが重要である。
- 文章構成の型を踏まえて英語を書かせる活動の工夫・充実
 - 英語のパラグラフは一つのトピック・センテンスとその根拠・例示などから成り立っているという型を理解させることが重要である。さらに、実際に文章を書かせる際には、何をトピック・センテンスにするかをよく考えさせたうえで、型に従ってパラグラフを展開させる必要がある。

■スピーキング

- 読んだり聞いたりした内容と関連付けて話す活動の工夫・充実
 - 話す活動を行う際には、読んだり聞いたりしたことについて、ひとつひとつ内容を確認させながら進めたり、内容について説明を行わせたりすることが重要である。
- 口頭での説明を行う活動の充実
 - 単に自分の意見を述べるだけではなく、相手に分かりやすく物事を説明することが重要である。自分が発表したい内容について情報をまとめさせ、聞き手に分かりやすく提示するプレゼンテーションを行わせる等の活動が大切である。

■ 論理的思考力

- 情報量の多い会話や英文の論理的な構造を理解させる活動の工夫・充実
 - 情報量の多い会話や英文では、論理的な構造がどのようになっているのかを把握させながら理解させる必要がある。例えば、英文の中でどのような意見が主張されているか、誰が意見を主張しているか、2つの意見の間の違いは何かといったことを確認することが重要である。

(2) 中学校

① スコアの結果

中学校における本調査の総合得点率の平均は、69.5%である。各スキルの平均スコアは、以下の通りである。

■ リーディング

今回の調査では、リーディングがペーパーの形式のみならず ICT の形式でも実施された。ペーパーテストと ICT テストでは、論理的思考力の問題 3 問を除き、同じ問題が提示された。

全体としては、460 満点に対して、336.8 点である。受験者の英検レベル分布では、3 級レベルの割合が一番多く (32.4%)、次に 5 級レベル (25.4%)、準 2 級チャレンジレベル (23.6%)、4 級レベル (14.0%)、5 級チャレンジレベル (4.6%) となっている。3 級レベル以上の受験者が、半数以上の割合 (56%) を占めている。

*準 2 級チャレンジレベルは、3 級より上のレベルにあることを指す。

5 級チャレンジレベルは 5 級より下のレベルにあることを指す。

本調査におけるレベル一覧

準 2 級チャレンジレベル
3 級レベル
4 級レベル
5 級レベル
5 級チャレンジレベル

正答率で違いを見ると、ペーパーテスト受験校の平均正答率は、75.4%であり、ICT テストの受験校の平均正答率は、73.6%であり、大きな違いは見受けられない (ただし、ICT テストの受験校は 2 校のみのため、有意な数値とは言えない)。

■ リスニング

460 満点に対して、320.2 点である。受験者の英検レベル分布では、5 級レベルの割合が一番多く (29.7%)、次に 3 級レベル (29.4%)、準 2 級チャレンジレベル (18.7%)、4 級レベル (14.5%)、5 級チャレンジレベル (7.7%) となっている。3 級レベル以上の受験者が、半数近い割合 (48.1%) を占めている。

■ ライティング

9点満点に対して、6.6点である。

■ 論理的思考力

論理的思考力は、リーディングとリスニングの一部として提示された。論理的思考力の問題の集計においては、論理的思考力のみとして集計されたものと、リーディングまたはリスニングの問題と重複して集計されたものがある。

中学校では、ICTテストが2校において実施されたが、論理的思考力問題の一部がペーパーテストとICTテストでは異なる問題が提出された。ペーパーテストの論理的思考力(23校)は、23点満点中14.3点である。ICTテストの論理的思考力(2校)は、23点満点中13.5点である。共通する問題の正答率は、ペーパーテストが60%、ICTテストが55.9%である。

■ スピーキング

スピーキングは全受験者の約49%がレベル3を受験した。受験レベルは、各校が任意に選択した。合格レベルに達した割合(平均合格率)は61.5%である。

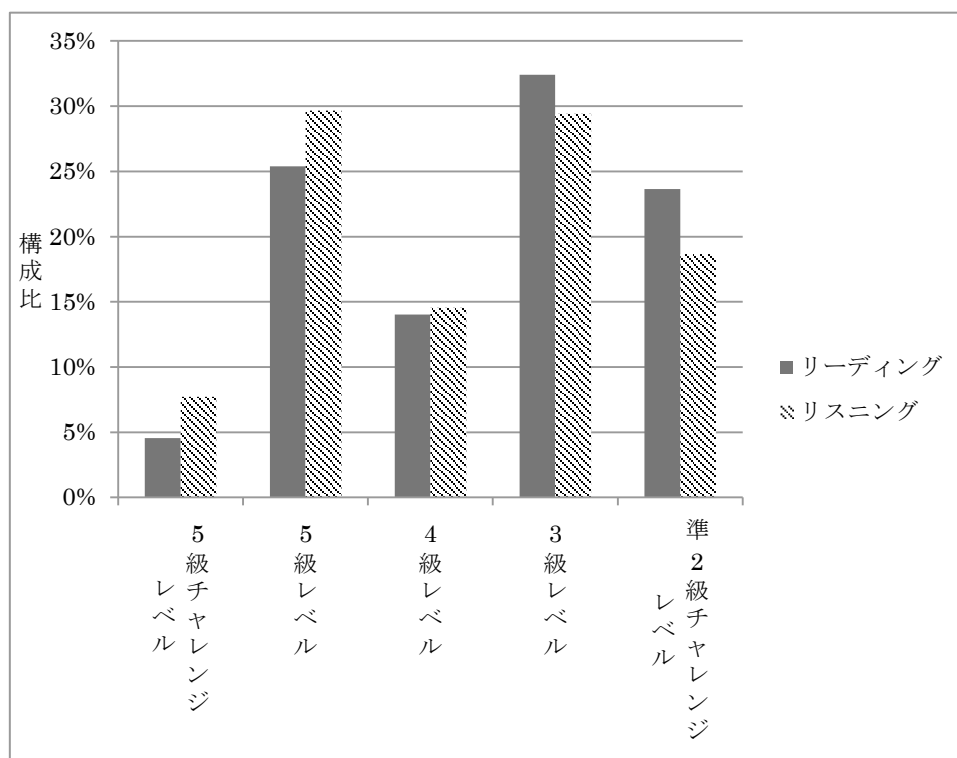
② 成績データ

■ 全体集計

	生徒数	平均スコア	平均正答数	平均正答率	平均合格率	標準偏差	平均スコアの 95%信頼区間	中央値	最大値	最小値
リーディング	2,568	336.8 / 680	13.6 / 18	73.2%	-	88.3	163.7 ~ 509.8	345	460	116
リスニング	2,566	320.2 / 680	17.8 / 22	69.6%	-	91.3	141.2 ~ 499.2	341	460	56
ライティング	2,575	6.6 / 11	-	73.4%	-	2.4	1.9 ~ 11.3	7	9	0
論理的思考力	2,563	14.3 / 23	14.3 / 23	62.1%	-	5.2	4.2 ~ 24.4	14	23	1
スピーキング	1,249	20.3 / 33	-	61.5%	61.5%	6.7	7.1 ~ 33.5	21	33	7

※論理的思考力の集計では、リーディング・リスニング両方を受験した生徒を対象にしています。

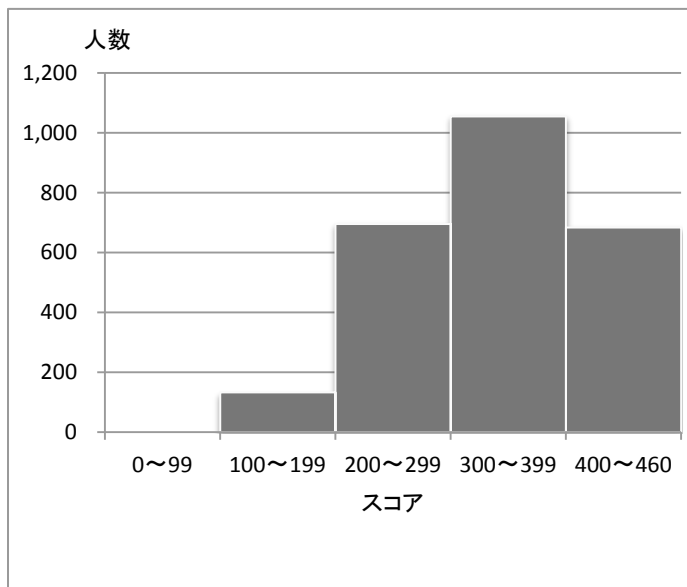
リーディング・リスニングの英検レベル分布



■ リーディング

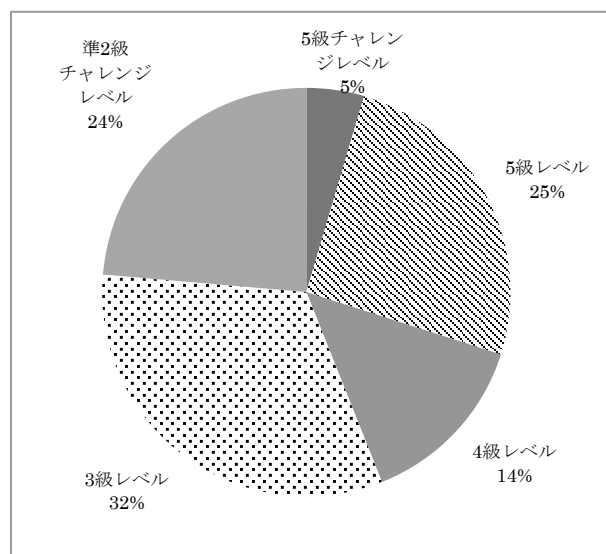
スコア分布

スコア	度数
0～99	0
100～199	133
200～299	696
300～399	1055
400～460	684
合計	2,568



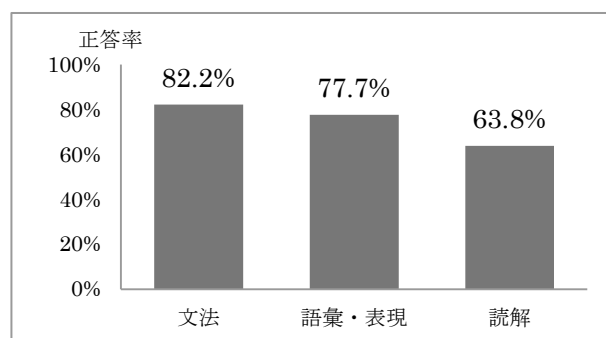
受験者の英検レベル分布

レベル	割合
5級チャレンジレベル	4.6%
5級レベル	25.4%
4級レベル	14.0%
3級レベル	32.4%
準2級チャレンジレベル	23.6%



分野別正答率

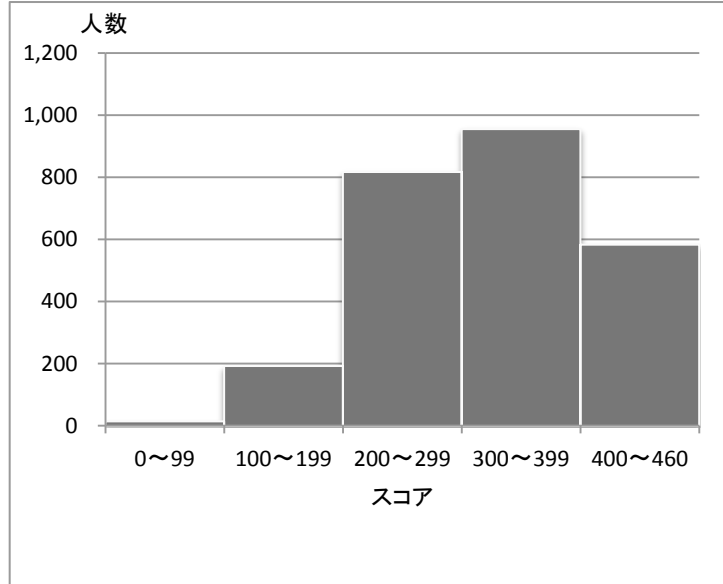
分野	正答率
文法	82.2%
語彙・表現	77.7%
読解	63.8%



■ リスニング

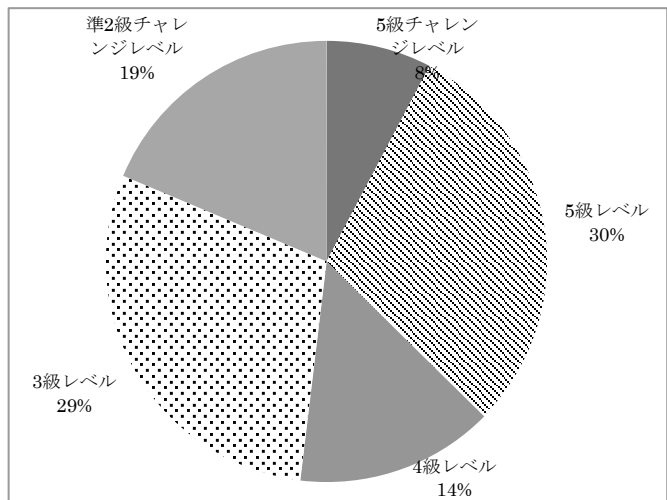
スコア分布

スコア	度数
0～99	15
100～199	193
200～299	818
300～399	956
400～460	584
合計	2,566



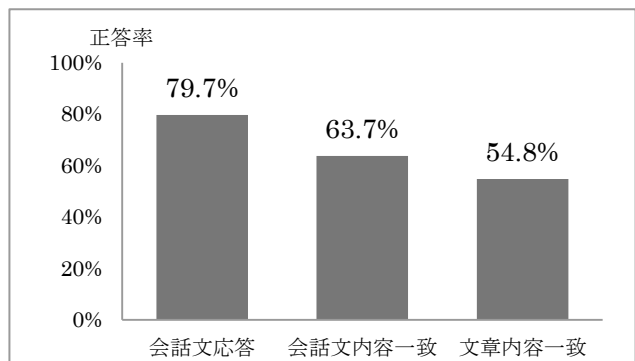
受験者の英検レベル分布

レベル	割合
5級チャレンジレベル	7.7%
5級レベル	29.7%
4級レベル	14.5%
3級レベル	29.4%
準2級チャレンジレベル	18.7%



分野別正答率

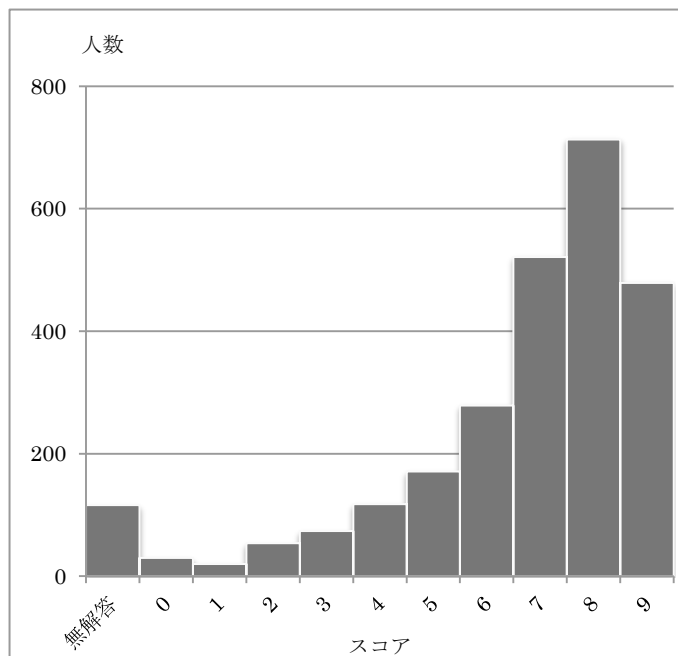
分野	正答率
会話文応答	79.7%
会話文内容一致	63.7%
文章内容一致	54.8%



■ ライティング

スコア分布

スコア	度数
無解答	116
0	30
1	20
2	54
3	74
4	118
5	171
6	279
7	521
8	713
9	479
合計	2,575



評価基準別スコア分布

分野		0点	1点	2点	3点	平均点
コミュニケーション	文の総数	5.7%	9.5%	84.9%	-	1.8
	図表の読み取り	10.0%	9.4%	17.6%	63.0%	2.3
言語	文法	18.8%	54.6%	26.6%	-	1.1
	綴り	11.9%	36.0%	52.1%	-	1.4

評価基準

文の総数	文の数の指定に従って、英文が書けているかどうか
図表の読み取り	与えられた図表の内容を読み取っているかどうか
文法	文法に誤りがないかどうか
綴り	綴りに誤りがないかどうか

* 中学校の評価基準である「文の総数」は、高等学校の「分量」に対応する。中学校の評価基準である「図表の読み取り」は、高等学校の「資料理解」に対応する。中学校の評価基準である「文法」と「綴り」は、高等学校の「文法・綴り」という評価基準を二分し、それぞれについてより詳しくみたものである。

■ スピーキング

受験結果

	もう少し がんばろう レベル		あと一步レベル		合格レベル		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
レベル 3 (英検 3 級相当)	297	23.8%	184	14.7%	768	61.5%	1,249

設問別平均得点

問題	内容	平均得点	配点	
音読	パッセージの音読	3.3	5	
質問応答	Q1	パッセージに関する質問に答える	2.9	5
	Q2	イラストを説明する	3	5
	Q3	イラストを説明する	3	5
	Q4	意見を述べる	3	5
	Q5	意見を述べる	3.5	5
態度	コミュニケーションを図る態度	1.7	3	
合計		21.2	33	

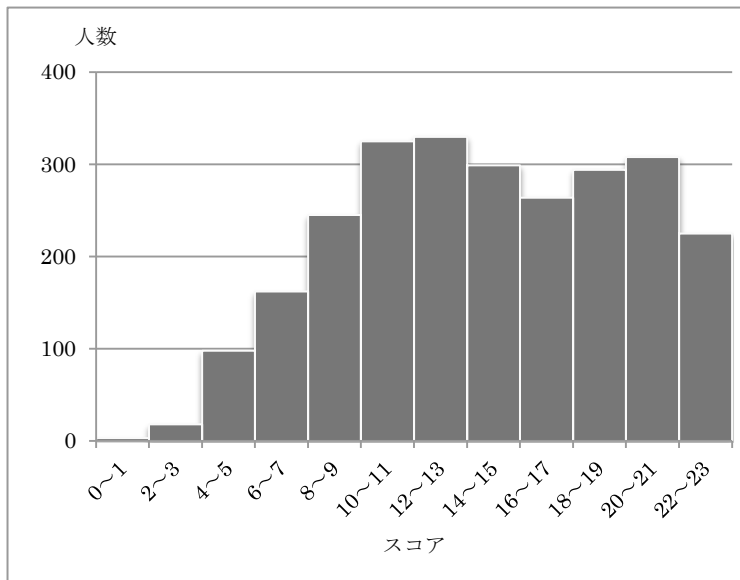
評価基準

レベル 3	音読では, 英文を正確に読み上げる能力を測定する。質問応答の No.1 では音読した文章に関して, No.2 と No.3 ではイラストに関して問われる。No.4 と No.5 は, 受験者がどのような意見を持っているかを問う。態度は積極性, 明瞭な音声, 自然な反応の 3 点が評価の対象となる。
-------	---

■ 論理的思考力

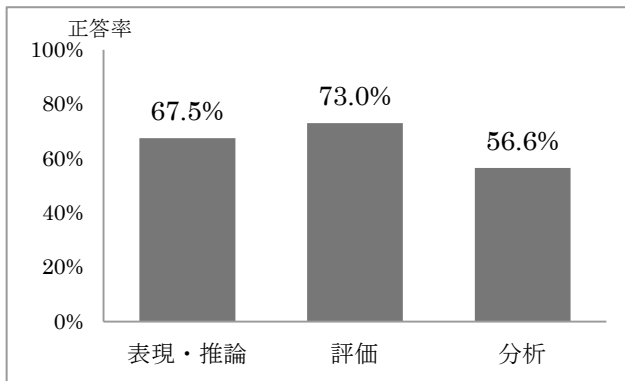
スコア分布

スコア	度数
0~1	3
2~3	18
4~5	98
6~7	162
8~9	245
10~11	325
12~13	330
14~15	299
16~17	264
18~19	294
20~21	308
22~23	225
合計	2,571



分野別正答率

分野	正答率
表現・推論	67.5%
評価	73.0%
分析	56.6%



③ 問題別データ

■ リーディング

大問	問題	出題内容	分野	学習指導要領の領域等				評価の観点				正答率	無解答率
				書くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
1	1	文脈から判断し、適切な熟語(after school)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	92.6%	0.0%
	2	文脈から判断し、適切な熟語(listen to)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	93.3%	0.0%
	3	文脈から判断し、適切な単語(library)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	94.5%	0.0%
	4	文脈から判断し、適切な熟語(look like)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	87.2%	0.1%
	5	文脈から判断し、適切な単語(late)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	52.5%	0.2%
	6	文脈から判断し、適切な単語(make)を選択することができる。	語彙			◎				○	◎	94.4%	0.0%
2	7	否定文を書くことができる。	文法			◎	○		○		◎	88.0%	0.2%
	8	疑問文を書くことができる。	文法			◎	○		○		◎	84.2%	0.0%
	9	否定命令文を書くことができる。	文法			◎	○		○		◎	60.8%	0.2%
3	10	文脈から判断し、適切な挨拶を選択することができる。	表現		○	◎			◎	○		90.1%	0.0%
	11	文脈から判断し、適切な問かけを選択することができる。	表現		○	◎			◎	○		69.0%	0.0%
	12	文脈から判断し、質問に適切にこたえることができる。	表現		○	◎			◎	○		66.5%	0.2%
5A	25	本文の内容を把握し、登場人物のいだいた感情の理由が理解できる。	読解			◎				◎		80.8%	0.3%
	26	本文の内容を把握し、登場人物が寝ていた時間を理解できる。	読解			◎				◎		74.5%	0.4%
	27	本文の内容を把握し、登場人物が見たものを理解できる。	読解			◎				◎		67.8%	0.5%
5B	28	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由が理解できる。	読解			◎				◎		55.2%	0.6%
	29	本文の内容を把握し、登場人物のいだいた感情の理由が理解できる。	読解			◎				◎		57.8%	0.5%
	30	本文の内容を把握し、登場人物の今後の行動を理解できる。	読解			◎				◎		46.7%	0.7%

■ リスニング

大問	問題	出題内容	分野	学習指導要領の領域等				評価の観点				正答率	無解答率
				書くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		
1	1	会話を聞き取り、時刻を問う質問に適切に回答することができる。	会話文応答	◎	○			○		◎	○	96.3%	0.1%
	2	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		95.1%	0.0%
	3	質問を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		86.0%	0.2%
	4	質問を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		72.3%	0.1%
	5	会話を聞き取り、適当な電話での受け答えをすることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		73.4%	0.3%
	6	会話を聞き取り、これからの予定に関する質問に適切に回答することができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		67.5%	0.4%
	7	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		93.3%	0.2%
	8	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎	○	81.1%	0.3%
	9	会話を聞き取り、応答として適切な言葉を伝えることができる。	会話文応答	◎	○			○		◎		52.3%	0.3%
2	10	会話の内容を踏まえ、時刻を問う質問に適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		83.0%	0.2%
	11	会話の内容を踏まえ、時期を問う質問に適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		93.9%	0.2%
	12	会話の内容を踏まえ、行き先を問う質問に適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		83.5%	0.1%
	13	会話の内容を踏まえ、話題となっている人物が誰かを適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		54.5%	0.3%
	14	会話の内容を踏まえ、時期を問う質問に適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		52.7%	0.2%
	15	会話の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		31.0%	0.1%
	16	会話の内容を踏まえ、現在の天候を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		61.9%	0.2%
	17	会話の内容を踏まえ、時期を問う質問に適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		53.2%	0.2%
	18	会話の内容を踏まえ、過去の天候を適切に答えることができる。	会話文内容一致	◎						◎		59.4%	0.2%
3	19	英文の内容を踏まえ、文の主眼を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		67.5%	0.3%
	20	英文の内容を踏まえ、行き先を問う質問に適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		82.3%	0.2%
	21	英文の内容を踏まえ、話題となっている人物が誰かを適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		59.2%	0.2%
	22	英文の内容を踏まえ、登場人物の行動の頻度を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		39.7%	0.2%
	23	英文の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		48.9%	0.2%
	24	英文の内容を踏まえ、行き先を問う質問に適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		49.3%	0.2%
	25	英文の内容を踏まえ、登場人物の好みを適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		58.2%	0.3%
	26	英文の内容を踏まえ、登場人物の行動の時期を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		49.0%	0.3%
	27	英文の内容を踏まえ、登場人物の行動を適切に答えることができる。	文章内容一致	◎						◎		39.5%	0.2%

■ 論理的思考力

技能	大問	問題	出題内容	分野	正答率	無解答率
リーディング	3	11	文脈から判断し、適切な問いかけを選択することができる。	評価	69.0%	0.0%
		12	文脈から判断し、質問に適切にこたえることができる。	評価	66.5%	0.2%
	4A	13	論理的に考え、ペアになる語彙を選択することができる。	推論	90.8%	0.0%
		14	論理的に考え、ペアになる語彙を選択することができる。	推論	74.8%	0.0%
		15	前後の論理関係にあう接続表現を選ぶことができる。	表現	81.7%	0.2%
		16	前後の論理関係にあう接続表現を選ぶことができる。	表現	22.5%	0.3%
	4B (紙版)	17	表の内容に相当する文を選択することができる。	評価	85.8%	2.1%
		18	グラフの内容に相当する文を選択することができる。	評価	73.4%	2.3%
		19	予定表の内容に相当する文を選択することができる。	評価	70.2%	2.2%
	4B (ICT版)	17	コンピュータ上に表示された情報から、仮説を確かめることができる。	評価	100.0%	0.0%
		18	コンピュータ上に表示された情報から、仮説を確かめることができる。	評価	90.0%	0.0%
		19	コンピュータ上に表示された情報から、仮説を確かめることができる。	評価	50.0%	0.0%
	4C	20	本文で示された位置を図上の地点と結びつけることができる。	分析	57.6%	0.2%
		21	本文の内容から、過去のできごとを読み取ることができる。	分析	60.0%	0.3%
		22	本文において、筆者と意見が対立している人を読み取ることができる。	分析	64.5%	0.4%
		23	本文において、筆者が提案している主張の理由を読み取ることができる。	表現	52.6%	0.5%
		24	本文の要旨を読み取ったうえで、空欄に入る適切な語を選択することができる。	表現	39.3%	0.2%
	5A	25	本文の内容を把握し、登場人物のいだいた感情の理由が理解できる。	分析	80.8%	0.3%
5B	28	本文の内容を把握し、登場人物の行動の理由が理解できる。	分析	55.2%	0.6%	
	29	本文の内容を把握し、登場人物のいだいた感情の理由が理解できる。	分析	57.8%	0.5%	
リスニング	2	14	会話の内容を踏まえ、時期を問う質問に適切に答えることができる。	分析	52.7%	0.2%
		16	会話の内容を踏まえ、現在の天候を適切に答えることができる。	分析	61.9%	0.2%
		17	会話の内容を踏まえ、時期を問う質問に適切に応答することができる。	分析	53.2%	0.2%
		18	会話の内容を踏まえ、過去の天候を適切に答えることができる。	分析	59.4%	0.2%
	3	23	英文の内容を踏まえ、登場人物の今後の行動を適切に答えることができる。	分析	48.9%	0.2%
		24	英文の内容を踏まえ、行き先を問う質問に適切に答えることができる。	分析	49.3%	0.2%

④ 調査結果から見られる傾向と課題

- ◇…相当数（正答率 80%以上）またはおおよそ（正答率 60%以上）の生徒ができてい
る点
- ◆…課題がある（正答率 40%未満，または成績下位層の正答率が低いもの）点

■ 全体的な状況

- ◇ 簡単な語彙など言語材料についての知識は，相当数の生徒ができています。
- ◇ 学校や生活に関する簡単な話題であれば，英語で理解したり表現したりすることについては，おおよその生徒ができています。
- ◆ 分量の多い文章の内容を理解することに課題があります。

■ リーディング

- ◇ 簡単な語や連語の理解は，相当数の生徒ができています。
- ◇ 学校や生活に関する話題についての短い文章の理解は，おおよその生徒ができています。
- ◆ 会話の流れを理解し，適切な表現を選択することに課題があります。

■ リスニング

- ◇ 学校や生活に関する話題についての短い会話は，相当数の生徒が理解できています。
- ◇ 簡単な英文について要点を適切に聞き取ることは，おおよその生徒ができています。
- ◆ 会話や英文の詳細を聞きとることに課題があります。

■ ライティング

- ◇ 所定の分量に達するまで積極的に書くことについては、おおよその生徒ができてい
る。
- ◇ 与えられた資料を読み取って、その内容を書くことについては、おおよその生徒が
できている。
- ◆ 英語の文法に従って文を書くことについては、課題がある。

■スピーキング

- ◇ 学校や生活に関する話題について、受験者自身の意見を問う簡単な質問に答えること
は、おおよその生徒ができている。
- ◆ 一般的な話題について、与えられたテキストの内容に関する質問に答えることに課題
がある。

■ 論理的思考力

- ◇ 対義語関係など簡単な論理関係を理解することは、おおよその生徒ができている。
- ◇ 簡単な図表に描かれている情報を整理し、抽出することは、おおよその生徒ができ
ている。
- ◆ やや複雑な論理関係を捉えることに課題がある。

⑤ 指導改善のポイント

■ 全体的な状況

- まとまりのある英語に慣れさせる活動の工夫・充実
 - 短い文章にとどまらず、まとまりのある英語に触れる活動を行うことが重要である。その際、文と文との関係がどのようになっているかに着目させ、文章全体の流れがどのようになっているかを把握させることが大切である。
 - 単に短い語句や文を発することにとどまらず、まとまりのある英語を伝えられるようにすることが重要である。その際、全体として一貫性があるようにし、相手に正しく伝わるように、話したり書いたりすることが大切である。

■ リーディング

- まとまりのある英語を読む活動の工夫・充実
 - 短く単純な英語を読んで理解することは多くの生徒ができていたことから、読み取りの能力をさらに伸ばすために、身近な話題で分量が多い文章などまとまりのある英語を読む活動が重要である。
- 多様な文章を読む活動の工夫・充実
 - 読み取りの能力をさらに伸ばすために、物語文や説明文に加えて、多様な文章を読ませることが重要である。例えば、新聞やインターネットなどを活用し、生活場面に即した英語に慣れさせることで、様々な場面での理解力を向上させることが大切である。

■ リスニング

- 会話や英文の詳細を聞きとる活動の工夫・充実
 - 会話や英文を理解するには、時刻や場所に関する詳細を把握させることが大切である。詳細を把握させるためには、聞きとりの際に適宜メモをとらせるといった活動も重要である。
- まとまりのある英語を聞く活動の工夫・充実
 - 短く単純な英語を聞いて理解することは多くの生徒ができていたことから、聞き取りの能力をさらに発展させるために、例えば、海外のニュースや天気予報などまとまりのある英語を聞く活動が大切である。

■ ライティング

- 書く際に文法事項の知識を活用させる活動の工夫・充実
 - 文法事項を単に知識として身につけさせるだけでなく、書く際に正しく運用させることが重要である。例えば、生徒が書いた文章を生徒同士で文法の誤りがないか確かめさせながら、文法の正しい運用をお互いに指導することなどが考えられる。
- 複数の文からなる文章を書かせる活動の工夫・充実
 - まとまりのある文章を書くときには単に文を連ねるのではなく、文と文のつながりに注意しながら書く必要があるということに気付かせることが重要である。例えば、適切な接続表現を用いることで文と文のつながりを明示したり、代名詞を適切に用いることで文章の結節性を高めたりするといった活動を行うことが大切である。

■スピーキング

- 読んだり聞いたりした内容と関連付けて話す活動の工夫・充実
 - 話す活動を行う際には、読んだり聞いたりしたことについて、内容を確認させながら進めたり、内容について説明を行わせたりすることが重要である。
- 自分の考えを積極的に他の人に伝える活動の充実
 - 相手の質問に答えるだけではなく、自分の考えを積極的に述べるために、例えば、自分の興味のあることや考えていることについてスピーチを行わせる等の活動が大切である。

■ 論理的思考力

- 接続表現の学習と関わらせながら、文と文の論理関係を意識させる活動の工夫・充実
 - 文と文の間の論理関係がどのようになっているかを整理させることで、接続表現の学習を行うことが重要である。例えば、逆接の関係があることを発見させたうえで、逆接の接続詞 **but** の用法を理解させることが大切である。
- 語と語の論理関係を意識させる活動の工夫・充実
 - 論理的思考力を伸ばすためには、類似、対義、集合など語彙と語彙の論理関係を意識しながら学習することが大切である。例えば、**hot** と **cold** といった対義語をペアで提示するとともに、対義という論理関係が背後に存在していることを意識させることで、英語力と同時に論理関係を見出す能力を伸ばすことが重要である。